

スリナム月間情勢報告 (2020年2月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- 中央銀行前総裁の不正に対して、特別捜査チームが捜査を開始し、2人目の逮捕者が出た。ウーフダド財務大臣への不信任案は否決されたが、大規模な抗議デモが発生。
- レーマー中央銀行新総裁が就任したが、スリナムドルの下落が続くなど、課題は山積み。
- 新型コロナウイルス関連で、中国からの渡航者に対して、出発後14日間の入国制限が実施された。

2. 内政

- 3日付現地紙は、スリナム銀行協会は、中央銀行から1億ドル以上の資金が消えたことはトリクト前総裁の責任と述べ、検察庁は本件につき特別捜査チームを結成し、法務省及び警察と協力して犯罪捜査を開始したと述べたと報道。4日付現地紙は、本件の真相解明を求める市民の抗議デモが中央銀行前で行われたと報道。
- 3日付現地紙は、ミシーカバ教育大臣代行他は、新型コロナウイルスの関係で、中国に留学するスリナム人学生43人の家族に対して中国の状況を説明したと報道。5日付現地紙は、政府は中国からの来訪者に14日間の入国制限を実施すると発表したと報道。
- 4日付現地紙は、中央銀行の問題を巡って野党はウーフダド財務大臣の不信任案を提出したが、反対多数で否決されたと報道。
- 10日付現地紙は、中央銀行事件の特別捜査チームは、トリクト前総裁と取引のあったコンサル社員を逮捕した、本件で2人目の逮捕者となったと報道。
- 11日付現地紙は、中央銀行職員が政府からの過大な介入を批判する抗議活動を行ったと報道。
- 13日付現地紙は、12日外務省と内務省は、外交団向けに5月の総選挙の準備状況について説明会を開催したと報道。
- 17日付現地紙は、中央銀行の資金の不正管理に対して、数千人規模の抗議活動が独立広場で行われ、参加者は国民の生活は苦しいと政府を批判したと報道。
- 18日付現地紙は、銀行協会、企業協会及び製造業者協会は、中央銀行総裁候補にレーマー・ハクリンバンク頭取を指名したと報道。22日付現地紙は、ポー

タッセ大統領は、レーマー中央銀行新総裁を任命し、新総裁は課題は山積みであるが、全力を尽くすと述べたと報道。

● 20日付現地各紙は、開発調査研究所（IDOS）は、1月中旬から行った世論調査の結果で、全国的には5月の総選挙に向け与野党の支持は拮抗しているが、首都パラマリボでは野党がリードしていると発表したと報道。

● 24日付当地紙は、24日不正行為で逮捕されたトリクト前中央銀行総裁は拘束を解かれた、26日にはウーフダド財務大臣に事情聴取が行われると報道。

3. 経済

● 5日付現地紙は、ウーフダド財務大臣は、議会で中央銀行には20億米ドルの準備高があり、経済運営に問題ないと述べたが、専門家はその数字は正確ではなく、中央銀行には金の保有もなくなり、事態は深刻と述べたと報道。

● 5日付現地紙は、中央銀行の問題により、スリナムドルの対米ドル安は歯止めがきかず、4日の対米ドルレートは9.5スリナムドルで、5日は10スリナムドルまで下がったと報道。

● 7日付現地紙は、ウーフダド財務大臣は、米州開発銀行からの外国投資促進支援1千万米ドル及び再生可能エネルギー分野支援3千万米ドルの計4千万米ドルの借款に署名したと報道。

● 8日付現地紙は、7日の記者会見でボータッセ大統領がフィナバンクは倒産の危機にあったが、中央銀行が支援したと述べたことに対し、フィナバンクは事実と異なると反論したと報道。

● 16日付現地紙は、銀行協会関係者は、現在の外貨準備高は輸入1ヶ月分も払えない危機的な状態にあると述べたと報道。

● 17日付現地紙は、中央銀行経営陣は各商業銀行から預託された外貨は、輸入決済、債務返済、金の購入等に使用されたとの報告を発表したと報道。

● 26日付現地紙は、信用格付機関ムーディーズは、スリナムの格付けをB2（信用リスクが高く非常に投機的）に据え置いたが、対外ショックの危険や政府の流動性欠如も指摘した、財務省はこの格付けにつき当国の経済成長と安定性が認識されたと述べたと報道。

4. 外交

● 11日付現地紙は、7日中国の支援で建設されたワニカ病院の引渡式が実施され、アディーン副大統領、エリアス保健大臣等が出席し、この病院は両国の緊密な関係の表れと述べたと報道。

● 14日付現地紙は、スリナム訪問中のトルコ貿易代表団は投資分野や協力案件の発掘を模索し、パーメッサ農業大臣とバナナ等の農業分野での投資、協力

につき協議したと報道。

● 18～19日にバルバドスで開催されたカリコム中間首脳会合にアディーン副大統領が出席し、それに先立つ外相会合にはポラック＝ビゲリ外務大臣が出席した。

● 24日付現地紙は、スリナムとジブチは21日両国の国連大使間で、外交関係樹立の共同宣言に署名したと報道。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。